

ひびき通信

平成 26 年
2 月版

新鮮なネタをその場で握る寿司
スタンドが登場!!写真⑤。お血いっ
ぱいに盛られた握りたてのお寿司。
一人で十貫食べたご利用者もいま
した!!写真⑥

ご家族様と懇親の和

握りたてのお寿司とバイキング料理に舌鼓

グループ
ホーム
響

グループホーム響の家族会・新年会が一月十九日に当センターにて開催されま

した!!写真。入所されている方々のご家族様と職員との交流はもちろん、普段、あま
り顔を合わせるこの少ないご家族様同士の懇親も兼ねて開催されました。

今年で 3 回目の家族会・新年会



6種類の料理が並んだバイキング

今年で三回目となる家族会・
新年会にはご家族の方々十名
が参加されました。新年会に
先立って開かれた家族会では、
管理者や主任より入居されて

いる方々の日頃の様子につい
て報告があったあと、グルー
プホームで実際にご入居者を
看取ったケースなどについて
説明を受けました。

このあと会場を移動して新
年会がスタート。この日は、
元寿司職人の永井さんがボラ
ンティアの板前さんとして参
加。目の前で握るお寿司をは
じめ、鳥の唐揚げ、海老マヨ
ネーズ、ほうれん草のキッ



シユ、生ハムと蕪のサラダ、
高野豆腐と椎茸の煮物、フルー

ツなど、豪華、盛りだくさん
のメニューにご入居者もご家
族様も大満足でした。
会の途中では、グループホー
ムの職員一人ひとりが自己紹
介。握りたてのお寿司とバイ
キング料理を食べながら、参
加された方々も職員たちも「お
いしい一日」を過ごしていま
した。

こだわりの 入浴 セミナー

▲右麻痺での入浴を体験する受講者

機械に頼らない入浴介助法を学
ぶ「こだわりの入浴セミナー」が
このほど、当センターにて開催さ
れ、参加した6人の介護職たちは

浮力を活かす介助のコツ

湯船に浸かり、ずぶぬれになって何度も体験

金田センター長の指導のもと、生
活ケアに根ざした介助法を学びま
した。

このセミナーの一番の特徴は、



職員手づくりの獅子頭が登場 今年は春から 縁起がいいね

デイサービス響の新春演芸会が
このほど開催されました。今年
の演芸会には、職員手作りの獅
子頭が登場しました!!写真。ダ
ンボールと風呂敷でつくった獅
子頭はなかなかの出来栄え。ご
利用者たちも、お囃子にのって
登場した獅子頭に思わず拍手。
「今年は春から縁起がいいや」と
笑顔になっていました。

厨房への立ち入り検査が終了

実際にお湯を張った湯船に入り、
介助される側、介助する側を交互
に体験しながら、技術が体得でき
ること。参加者たちは、湯船に入
る前に学んだ、立ち上がりや移乗
の際の介助法を振り返りながら、
浮力を活かした介助のコツを何度
も確認していました。

川崎市多摩区保健所による厨房へ
の立ち入り検査がこのほど行われま
した。検査では、食材仕入れ時の品
質、鮮度の保持状態をはじめ、ノロ
ウイルスの発生時期ということもあ
り、手洗い状況などについても確認
が行われました。